

「軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動山形県実行委員会
山形市薬師町2-6-15 山形県労連内
TEL 023-615-2172 FAX 023-615-2173
mail yamagataroren@yahoo.co.jp

「国民皆保険」崩す

マイナ保険証の強要反対！紙の保険証を廃止するな！ 国民大運動が街頭で署名アピール行動

健康保険証の誤登録が相次ぐなどマイナンバーカードシステムの混乱が続く中、国民大運動山形県実行委員会は6月16日、山形市内で「マイナ保険証の強要反対！従来の紙の保険証の存続を求めるアピール行動」を展開しました。雨が降りしきる中、各団体から13人が参加し、チラシを配布し署名とシールアンケートを呼びかけました。

参加したメンバーはハンドマイクで「これだけの大混乱が続いても、政府はあくまでも来年秋には紙の保険証を廃止しようとしている。いったん立ち止まって総点検し、システムを抜本的に改修し、紙の保険証も残すべきだ。無理やりマイナカードに一本化して強制することは、国民皆保険制度を崩すことになり、許されない」と批判し、従来の紙の保険証の存続を求めようと呼びかけました。

年配の3人連れの女性は「トラブルのことが報道されると怖くなる」とか「保険証とひもづけてしまうと、自分の健康や病気のことだから不安になる」と語り、署名に応じました。

シールアンケートでは、マイナ保険証に一本化し従来の保険証を廃止することについて、15人が回答したうち12人が「納得できない」と回答しました。

行動には、先の県議会議員選挙で初当選した共産党の石川渉県議も参加し、マイクで保険証存続を訴えました。



シールアンケートに応える市民

インボイス阻止の声響く 国会前に1500人集結 山形でも行動 ペンライトで街頭アピール

今年10月からの導入がねらわれている消費税のインボイス(適格請求書)制度の中止を求めるアクションが6月14日、全国でいっせいに行われました。国会正門前では1500人が参加し、「増税もう無理！」とアピール。

立憲、共産、社民、れいわの各党とインボイス問題検討・超党派議連からも多くの国会議員が参加し、「みんなの力で希望の経済をつくろう」と訴えました。



恐竜のかぶりもので市民にアピール

山形市では、有志でつくる「STOPインボイスやまがた」のメンバーが「増税もう無理！ストップ！インボイス 全国一揆」に呼応して、午後6時から山形市の繁華街でアピール行動を繰り広げました。

QRコード付きの名刺サイズのビラを配り、オンライン署名への協力を呼びかけ、帰宅途中の市民が受け取っていきました。

リリーススピーチでは、ITエンジニアや農機具販売業の男性らが「インボイスは消費税の増税であり、国民みんなの暮らしを大変にするもの」「まだ止められます。一緒に声をあげましょう」など次々に発言。共産党の石川渉県議、れいわ新選組の二藤部冬馬・大石田町議も参加しインボイス中止を訴えました。

「このために来た」と言う、仙台市から行動に駆けつけた「せっぽつまりこ」さん＝フリーランス＝は、夕暮れの中ペンライトを振ってアピール。「フリーランスの人が幸せでなければ文化は死んでしまう」と訴えていました。

街頭での行動の後、参加者は屋内で集会を行いました。国会前の集会をはじめ全国の行動をオンラインでつなぎ、その模様をみんなで視聴しました。国会前集会での俳優、税理士、建設業者、アニメーター、演劇人、映画監督などが次々にインボイス中止の思いを熱く語るのを熱心に見入り、決意を固めました。



プラカードを掲げインボイス中止を訴える参加者